

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

患者背景、発現時期に関する集計

1. 患者年齢別① 合計

	症例数	(%)
10歳未満	47	28%
10代	115	70%
20代	2	1%
30代	1	1%
40代	0	0%
50代	0	0%
60代	0	0%
70代	0	0%
80代	0	0%
90代	0	0%
不明	2	
総計	167	100%

患者年齢別②

	症例数	(%)
6歳以下	10	6%
7歳から9歳	37	23%
10歳から12歳	71	43%
13歳から15歳	33	20%
16歳から18歳	8	5%
19歳以上	5	3%
不明	3	
総計	167	100%

2. 性別

	症例数	(%)
女性	43	27%
男性	119	73%
不明	5	
総計	167	100%

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

3. インフルエンザウイルス型別

	症例数	割合
A型インフルエンザ	114	68%
A&B型インフルエンザ	0	0%
B型インフルエンザ	28	17%
型不明	25	15%
不明	0	0%
予防	0	0%
総計	167	100%

4. 異常な行動の発現時期別

①【年別】

	症例数	割合
2000	0	0%
2001	0	0%
2002	0	0%
2003	0	0%
2004	0	0%
2005	0	0%
2006	0	0%
2007	29	18%
2008	44	27%
2009	91	55%
小計	167	100%
不明	3	
総計	167	

②【シーズン別】

	症例数	割合
2000-2001シーズン	0	0%
2001-2002シーズン	0	0%
2002-2003シーズン	0	0%
2003-2004シーズン	0	0%
2004-2005シーズン	0	0%
2005-2006シーズン	0	0%
2006-2007シーズン	10	6%
2007-2008シーズン	58	35%
2008-2009シーズン	97	59%
小計	167	100%
不明	2	
総計	167	

シーズン；8月から7月

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

5. インフルエンザ発症から異常な行動の発現までの病日*

病日	症例数	割合
1	40注1)	27%
2	79注2)	54%
3	24注3)	16%
4	3	2%
5	0	0%
6以上	1注4)	1%
不明	20	
総計	167	100%

発熱日を1病日

注1) 発熱日不明なためインフルエンザの診断日を1病日とした20例を含む

注2) 発熱日不明なためインフルエンザの診断日を1病日とした11例を含む

注3) 発熱日不明なためインフルエンザの診断日を1病日とした1例を含む

注4) 発熱日不明なためインフルエンザの診断日を1病日とした1例を含む

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

6. 最初の投与から異常な行動の発現までの時間*

	症例	
1時間未満	7	6%
1時間以上2時間未満	16	15%
2時間以上3時間未満	11	10%
3時間以上4時間未満	9	8%
4時間以上5時間未満	4	4%
5時間以上6時間未満	7	6%
6時間以上12時間未満	19	17%
12時間以上24時間未満	29	26%
24時間以上48時間未満	4	4%
48時間以上	4	4%
不明	57	
総計	167	

異常な行動が記録されている事例の集計
 (注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

7. 直前の投与から異常な行動の発現までの時間*

	症例数	(%)
30分未満	5	5%
30分以上1時間未満	3	3%
1時間以上2時間未満	20	19%
2時間以上3時間未満	16	15%
3時間以上4時間未満	13	12%
4時間以上5時間未満	10	10%
5時間以上6時間未満	9	9%
6時間以上12時間未満	27	26%
12時間以上	2	2%
不明	62	
総計	167	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

8. 異常な行動の直前の体温(6時間以内)*

①

	症例数	%
36度台	3	4%
37度台	13	17%
38度台	27	35%
39度台	28	36%
40度台	5	6%
41度以上	2	3%
不明	89 ^{注)}	
総計	167	

注) 体温不明の高熱3例、発熱6例、発熱なし1例を含む。

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

②異常な行動の発現時の体温の経過

	症例数	(%)
発熱持続	67	78%
解熱過程	12	14%
解熱後	7	8%
その他	0	0%
不明	81	
総計	167	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

9. 異常な行動の発現時刻別*

発現時刻	件数	割合
0時から6時まで ¹⁾	36	24%
6時から12時まで ²⁾	15	10%
12時から18時まで ³⁾	48	32%
18時から24時まで ⁴⁾	51	34%
不明	17	
総計	167	

1) 夜中、夜間、深夜発現の7例を含む

2) 朝発現の2例を含む

3) 昼頃、日中発現の3例および夕方発現の4例を含む

4) 夜発現の13例を含む

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

10. 就寝から異常な行動の発現までの時間*

	症例数	(%)
1時間未満	4	27%
1時間以上2時間未満	5	33%
2時間以上3時間未満	1	7%
3時間以上4時間未満	1	7%
4時間以上5時間未満	0	0%
5時間以上	4	27%
小計	15	100%
不明/就寝中でない	152	
総計	167	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

11. 異常な行動の発現が就寝中か否か*

	症例数	割合
Yes	40	34%
No	76	66%
不明	51	
総計	167	

12. 異常な行動の発現が覚醒直後か否か*

	症例数	割合
Yes	50	43%
No	66	57%
不明	51	
総計	167	

異常な行動が記録されている事例の集計
(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

13. 異常な行動が一眠りして回復したか否か*

	症例数	%
Yes	85	70%
No	37	30%
不明	45	
総計	167	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

14. 異常行動に関する患者の記憶の有無*

有	23	20%
無	94	80%
不明	50	
総計	167	

15. 光に対する反応の有無*

有	2	4%
無	43	96%
不明	122	
総計	167	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

16. 睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の既往歴の有無

	症例数	(%)
有	12	11%
無	98	89%
不明	57	
総計	167	

17. 睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の家族歴の有無

	症例数	(%)
有	3	3%
無	85	97%
不明	79	
総計	167	

18. 異常な行動の回復までの時間*

	症例数	(%)
30分未満	45	74%
30分以上1時間未満	5	8%
1時間以上6時間未満	8	13%
6時間以上24時間未満	2	3%
24時間以上	1	2%
不明	106	
総計	167	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

19. 異常な行動^{注)}発現後に投与を継続した症例の状況

	症例数	割合
異常な行動の発現あり	29	38%
異常な行動の発現なし	48	62%
不明	0	
総計	77	

注) 異常な行動を含む精神神経系症状

異常な行動が記録されている事例の集計
 (注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

20. 他剤による同様な症状の副作用歴の有無

	症例数	(%)
有	4	4%
無	106	96%
不明	57	
総計	167	

21. 熱性痙攣の既往歴の有無

	症例数	(%)
有	4	9%
無	43	91%
不明	120	
総計	167	

22. 熱性痙攣の家族歴の有無

	症例数	(%)
有	4	11%
無	33	89%
不明	130	
総計	167	

参考1. 主な併用薬剤の内訳

	薬効細分類2	集計
解熱鎮痛消炎剤	アニリン系製剤	78
	サリチル酸系製剤	0
	その他の解熱鎮痛消炎剤	1
	フェニル酢酸系製剤	0
	塩基性消炎鎮痛剤	0
	計	79
去たん剤	システイン系製剤	46
	その他の去たん剤	15
	ブロムヘキシシン製剤	0
	植物性製剤	0
	計	61
鎮咳去たん剤	その他の鎮咳去たん剤	0
	植物性製剤	0
	計	0
抗ヒスタミン剤	その他の抗ヒスタミン剤	24
	トリベレナミン系製剤	0
	フェノチアジン系製剤	1
	計	25
鎮咳剤	エフェドリン及びマオウ製剤	0
	その他の鎮咳剤	51
	デキストロメトルファン製剤	15
	計	66
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	オキサセフェム系抗生物質製剤	0
	セフェム系抗生物質製剤	4
	その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用	22
	ペニシリン系抗生物質製剤	1
	計	27
気管支拡張剤	イソプレナリン系製剤	0
	キサンチン系製剤	4
	その他の気管支拡張剤	20
	計	24
消化性潰瘍用剤	H ₂ 遮断剤	0
	その他の消化性潰瘍用剤	2
	計	2

参考2. 既往症・合併症

医師記載疾患名	既往症	合併症	計
アトピー性皮膚炎		1	
アレルギー性結膜炎			
アレルギー性鼻炎	5		5
ウイルス性下痢症			
ウイルス性筋炎			
ウイルス性発疹症疑い			
うつ状態			
うつ病			
スギ花粉症			
ぜんそく			
てんかん			
異常興奮			
胃潰瘍			
胃癌術後			
一過性心房細動			
咽頭炎			
右単径ヘルニア			
花粉症	1		1
過呼吸			
感冒			
感冒性消化不良症			
肝障害			
顔面外傷			
川崎病			
期外収縮			
気管支喘息	2	8	10
急性気管支炎		1	1
急性中耳炎			
強迫性障害			
頸動脈血栓症			
原因不明成長障害			
甲状腺腫大			
高CK血症			
高血圧			
腰部脊椎管狭窄症（術後）			
骨粗鬆症			
左単径ヘルニア			
細菌感染症（かぜ）			
失明			
上気道炎			
腎不全			

医師記載疾患名	既往症	合併症	計
睡眠時驚愕症	6*		6*
睡眠時遊行症	3		3
髄膜炎	1		1
精神遅滞	1		1
川崎病後冠動脈瘤			
脱水症			
知的障害			
虫垂炎			
陳旧性肺結核			
鉄欠乏性贫血			
糖尿病		2	2
糖尿病性右足壊疽			
統合失調症疑い			
洞不全症候群（ペースメーカー留置）			
特発性血小板減少性紫斑病			
突発性心房細動			
認知症			
熱射病			
熱性けいれん	4		3
脳炎			
脳梗塞			
肺炎			
肺結核後遺症			
肺結核後遺症に伴う慢性呼吸不全			
不眠症			
不明熱			
副鼻腔炎			
腹痛			
片頭痛（疑）			
便秘			
慢性心不全			
慢性腎不全			
慢性中耳炎			
夢中遊行			
夢遊症			
夜驚症	1		1
溶連菌感染		1	1
抑うつ神経症			
喘息	1	3	4
喘息様気管支炎			
計	19	22	41

*寝言を言って起き上がる程度の1例を含む。